

交流通信

国内外との交流・多文化共生

姉妹都市 設楽町とサッカー交流

設楽町で行われたサッカー交流の様子をご紹介します。

●スポーツを通じて交流を深める

8月28日(日)、設楽町の「豊邦交流センター」などで、田原市中部スポーツ少年団の児童12名と設楽町の児童21名による親善試合などが行われました。この催しは、姉妹都市である設楽町の魅力を知るとともに、設楽町の住民の方とふれあい、**▲サッカーを楽しむ子どもたち** 友好を深めることを目的に開催されたものです。



子どもたちは、最初は緊張していたものの、いっしょに汗を流すと、すぐに打ち解けて笑顔を見せていました。

●交流センターとは？

今回の交流の会場となった交流センター。この施設は、豊川上下流域の相互理解と住民同士の交流を図ることを目的に、廃校になった設楽町の2つの小学校



▲三都橋交流センター



▲豊邦交流センター

(三都橋・豊邦)を田原市が借り受け、交流拠点として活用しているものです。

●利用方法は？

対象：田原市民 ※営利目的での利用は不可

利用方法：キャンプ、バーベキュー、スポーツなど

料金：無料(電気、水道などの使用料も無料)

申し込み：事前に各交流センター会長へ電話(午後8時まで)予約、利用日当日に現地で申込書を記入

申し込み先	電話番号
三都橋交流センター 会長 原井 正さん	☎(0536)64局5264
豊邦交流センター 会長 小山 章さん	☎(0536)64局5423

※詳しい利用方法などはご相談ください。

▶政策推進課 ☎23局3507

◆どこに設置してあるの？
市役所、渥美支所、赤羽根市民センター、各小中学校・保育園・市民館・文化会館・図書館、児童センター(児童館含む)など公共施設114か所です。

◆どうやって知らされるの？
各施設の館内放送や受信装置(親機・子機)からお知らせします。

◆緊急地震速報とは？
地震発生直後に、震源近くの地震計で最初の小さな揺れをとらえ、地震の規模や震源を予測します。それに基づき、震度や到達時間を予測し、大きな揺れが始まる数秒〜数十秒前にお知らせするものです。



◆知ったらどうすればいいの？
速報から強い揺れが来るまで、わずかな時間しかありません。自分の身を守ることを第一に考え、落ち着いて行動してください。

例

地震、震度4、15秒後、
ビービー(警報音)、10、9、8、1。

※震度3以上の揺れが予想される場合のみ放送されます。必ずしも10秒以上の余裕があるとは限りません。

◆公共施設以外で知る方法は？
テレビやラジオなどでも放送されます。また、デパートなど集客施設での館内放送や携帯電話会社の配信サービスなどもあります。

◆緊急地震速報には限界があります
震源が近い場合、速報が間に合わないことがあります。また、実際の震度や揺れるまでの予測時間に誤差が生じることがあります。速報が発表されず、地震が発生することもあります。

▼防災対策課 ☎23局3548

みんなで取り組む防災・減災

けんちゃん

防災知恵袋

5

緊急地震速報